

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	小野 環	所属	美術学科
学位	修士	職位	准教授
専門分野	絵画・インスタレーション		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	デッサン基礎実習、総合基礎実習、構成実習、油画実習1、2、3、古美術研究演習、卒業制作、空間造形論、尾道学入門		
大学院	大学院油画実習1B、2B 絵画総合演習		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
(1) 2000年「キツネ作戦」/フタバ画廊、銀座			
(2) 2004年VOCA 展/上野の森美術館、上野			
(3) 2007年、2011年「AIR Onomichi」/山手地区アパート群、空地、尾道			
(4) 2008年 「gardens 植木鉢の冒険」/ふくやま美術館、福山			
(5) tina.b 2008 プラハ国際コンテンポラリーアートフェスティバル/プラハ市内各所、チェコ共和国※			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈展覧会〉			
(1) 2012年 おもち			
(2) 2012年 現代美術展宇山DNA/農作業小屋、東広島 ※			
(3) 2012年 UTOPIA~何処にもない場所/百島 ※			
(4) 2013年 美術学科教員展/尾道市立大学美術館、尾道			
(5) 2013年 にじゅうらせん/家ie、大阪 ※三上清仁とのユニットもうひとりで制作			
(6) 2013年 A glacial erratic block in Utopia/Utopiana、ジュネーブ ※			
(7) 2013年 In Progress1.0/ジュネーブ ※			
(8) 2013年 100のアイデアあしたの島/百島 ※			
(9) 2014年 静かなもの/なかつ美術館 ※			
(10) 2014年 100のアイデアあしたの島/百島 ※			
(11) 2015年 美術学科教員展/尾道市立大学美術館、尾道			
〈展覧会企画〉			
(12) 2011年 AIR Onomichi 2011/山手地区空き家、廃墟、尾道※			
(13) 2012年 OPEN STUDIO/ONAIR/山手地区空き家、廃墟、尾道※			
(14) 2013年 AIR 4/山手地区空き家、廃墟、尾道※			
〈アーティスト・イン・レジデンス〉			
(15) Utopiana/ジュネーブ※			
現在の研究テーマ（3つまで）			
(1) 場の特性を活かしたインスタレーション作品の制作・研究			
(2) 絵画、ドローイングの制作・研究			
(3) 場と美術の関わりの研究、新たな表現活動の場の創出			
研究テーマの進捗状況	まず(1)、(3)の研究は、アーティスト・イン・レジデンス「AIR Onomichi」の実践を中心に、推進。2014年も前年に引き続き国内外より美術家を3名（マレーシア1名、東京2名）招聘し、活動を展開。滞在制作支援、レクチャー等多彩なプログラムを実行した。各作家と場所との関わりは深まりと拡がりを見せ、次年度以降も各作家を継続招聘することとなった。現在、次年度以降のを見据えた企画準備を始めている。(2)は現実の場で感じ取ったことをスタジオにおける絵画・ドローイング等平面媒体ともものを扱った立体制作を中心に継続的に行っている。現在は特に建築物と自然との関わりに関する絵画・ドローイング制作の他、室内空間をモチーフとした立体制作も行っている。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
AIR Onomichi 実行委員会 代表 NPO法人尾道空き家再生プロジェクト 副代表理事			